

いしかわ 議会だより

No. **160**

平成22年 8月 1日

発行 / 石川町議会
編集 / 石川町議会広報
編集特別委員会



美しく咲いた板仲のあやめと
第5回板仲あやめまつり

2010

6月 定例会

P2

国保税率改正

P5

町政を問う 一般質問 7人が登壇

P12

追跡レポート

「未婚対策は」「消防施設の整備改修は」

P13

議会報告会・休日議会開催

平成22年度国保税率改正と

一般会計補正予算1581万円増を可決

平成22年度国民健康保険税率

医療分課税額

区分	平成21年度	平成22年度	比較
所得割	5.02%	7.20%	2.18%
資産割	17.32%	19.24%	1.92%
均等割	16,220円	17,740円	1,520円
平等割(一般世帯)	17,710円	19,250円	1,540円

後期高齢者支援金等課税額

区分	平成21年度	平成22年度	比較
所得割	2.15%	2.80%	0.65%
資産割	9.67%	9.76%	0.09%
均等割	7,490円	7,450円	40円
平等割(一般世帯)	7,410円	7,330円	80円

介護納付金課税額

区分	平成21年度	平成22年度	比較
所得割	1.65%	2.39%	0.74%
資産割	9.69%	10.64%	0.95%
均等割	8,700円	9,240円	540円
平等割	5,870円	6,260円	390円

国保税医療分の基礎課税額は、前年度医療費実績等を考慮して算定した結果、一世帯当たりで前年度比4129円増(4.19%増)の

10万2565円。一人当たりでは前年度比2424円増(4.87%増)の5万2165円となりました。

また、後期高齢者支援金課税額、介護納付金課税額についても左記表のとおり改正となりました。

国保税一世帯あたり10万2565円(4.19%増)

平成22年6月定例会は、6月10日から15日まで6日間の会期で開きました。この定例会では、国民健康保険税条例の一部改正や補正予算など9議案が提案され、すべての議案を原案のとおり可決しました。そのほか、陳情2件を審議し採択しました。また、一般質問には、7人が登壇し、行政全般について質問しました。

あなたから出された 陳情



坂路の飛鳥川保全の陳情箇所を視察

坂路地内飛鳥川流域
保全に関する陳情

審査結果【採択】

陳情者 坂路行政区

前区長 石井康夫

陳情の理由 土砂堆積等による水害の恐れと、橋の老朽化で軽トラックや農業機械通行時に橋が崩壊する恐れがあるため、土砂堆積の除去と橋の改修を求める。

町道1100号線の
舗装工事に関する陳情

審査結果【採択】

陳情者 赤羽行政区

区長 木勝典

陳情の理由 農用道路の主要路線であり、土砂等の流出で交通に支障をきたしているため、舗装工事の早期着工を求める。

郡内5町村の公共施設が 利用可能に

協議

公の施設の相互利用に
関する協議

石川郡内5町村の公共

公の施設の利用の特例

条例の改正

施設を相互利用できるものとした。

◀現在2代目、おもに精密機械の修理を手がけ、4人で営んでいる。



- 町内企業紹介 -

塩田鉄工所(株) (湯郷渡字米子平)

に関する条例

公共施設を相互利用するための条例の制定。

職員の仕事時間、休暇等に関する条例

職員の育児休業等に関する条例

国において、地方公務員の育児休業等に関する法律などが改正されることに伴い、時間外勤務命令や育児休業の改正をしました。

予算の補正

一般会計

地域づくり推進事業の木質材用破砕機等購入、庁用自動車の購入、国保特別会計及び介護特別会計への拠出金の増額など緊急性の高い事務事業について補正を行いました。歳入歳出それぞれ、1億581万1千円を増額し、総額59億1050万7千円となりました。

国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれ、2億28万6千円を増額し、総額20億5398万9千円となりました。

介護保険特別会計

一般会計繰入金から庁用自動車購入(地域包括支援センター)のための増額であり、歳入歳出それぞれ、1億2万8千円を増額し、総額11億8217万2千円となりました。

第3回 臨時会

学校の耐震補強工事等の請負契約を可決

平成22年5月24日

第3回臨時会は、会期を1日として開きました。議案10件が提案され承認・可決しました。

条例の改正

条例の一部改正

地方税法等の改正に伴い税条例を改正しました。個人町民税は、平成24年度から施行される扶養控除の見直しに伴い、扶養親族申告書の記載事項を改正するものです。たばこ税は、平成22年10月1日以後に売渡したものが行われる製造たばこから、一千本あたり13

人事案件



芳賀真一氏

固定資産評価員を同意

板橋字兵庫屋敷 芳賀真一氏を7月から固定資産評価員として同意しました。

契約の締結

- 石川小学校屋内運動場耐震補強・大規模改造工事 契約金額 7287万円
- 契約相手 (株)福産建設
- 母畑小学校屋内運動場耐震補強・大規模改造工事 契約金額 6751万5千円
- 契約相手 (株)志賀建設
- 石川中学校校舎(A棟)耐震補強・大規模改造工事 契約金額 2億3971万5千円
- 契約相手 水谷工業(株)

予算の専決承認

専決処分

事務事業の確定に伴い、最終的な予算の整理のため3月31日付けで一般会計ほか4件の総額9042万1千円減額の専決処分を行いました。

紙上中継

総務産業建設



相互利用施設となる温水プールと武道館
(双里字川向)

Q 公の施設の相互利用の協定とは

A 郡内5町村の連携による施設の有効活用

Q 協定の目的は。

A 石川地方5町村がそれぞれ有する施設を相互に活用することで施設の有効活用を図る。

また、構成町村住民の生涯学習、文化、スポーツ

ツの振興をもって福祉の増進を目的とする。

Q 対象施設は。

A 本町では総合運動公園など6施設、玉川村4、平田村5、浅川町6、古殿町5の計26

施設である。

Q 利用者の範囲は。

A 構成町村に住所を有する者とする。

Q 利用手続きは。

A 利用する施設の設置町村に申請をする。

Q 使用料は。

A 各町村の住民が利用する場合と同額とする。

Q 団体に利用する場合、郡内に住所があるものが申請をすれば利用は可能か。

A 可能と思われる。

Q 減免の扱いは。

A 各町村主催の行事は無償であるが、一般利用についてはない。

また、必要事項は構成町村で協議する。

Q いつから利用できるのか。

A 7月5日から利用できる。

文教厚生

Q 国保被保険者証のカード化は

A 利用者の利便性の向上を図る

Q 保険証のカード化の内容は。

A 現在、保険証は世帯ごとに発行しているが、被保険者が同時期に病院等に行く場合、保険証をコピーし後日提示する等、不便である。

また、仕事や学業等で石川を離れる場合、遠隔地保険証の交付を受けなければならぬ。

このようなことから、保険証を被保険者ごとにカード化し、利便性の向上を図りたい。

Q カードの紛失等が増えるのでは。

A 個人管理として適正に管理することが大切である。紛失の場合、再発行し、紛失保険証カードについては無効を告示する。

Q 発行手数料は。

A 無料である。

Q いつから保険証の切り替えをするのか。

A 本年10月1日から新しいカード保険証に切り替えるため、9月下旬には各家庭に送付したい。



カードになる国民健康保険証

Q 新石川の教育の主旨は

A 児童生徒の人間関係づくり

遠藤貢蔵議員



質問 新石川の教育とした事業の成果は。

答弁 小一プロブレムや中一ギャップ解消のための小中連携による交流学習や、教師の指導力向上のための合同研修会を行う体制が確立された。

参加した児童生徒、保護者、教職員の満足度の高さや、不登校生徒の減少の点である。

質問 小中学校統合問題への今後の動きは。

答弁 提言書を基本として教育委員会事務局だけ

ではなく、専門家も交え、計画性を持った組織をつくる。必須条件を勘案しながら、平成22年度中に必ず統合計画を説明できるものを策定する。

質問 桜の古木のコケ取りや剪定で、どの程度の延命が望めるのか。

答弁 具体的な年数はあげられないが、効果に期待し、今後も保全に努める。

質問 後継木育成が必要。考慮していきたい。

質問 地区、団体との連携を深める意味で窓口の一本化と話し合いの場を。

答弁 一貫性を持った窓口の一本化は大事と考える。

質問 各地域、団体で行っているライトアップ、提灯飾りに係る仮設電気

の申請、電気料金を町側が負担してはどうか。

答弁 予算の中に組み込むよう検討する。

要望 各パンフレットに桜茶のティーパックを付けて石川を思い出してもらおう工夫をしてみては。

Q 町民税なども納付回数を増やすべきではないか

答弁 微少ではあるが収納率は下がった。

質問 微少であれば、現在の景気動向では、固定資産税や、町民税の納付回数を増やし、一回に収める金額を少なくし、納めやすくするべきでは。

答弁 税法上や、ほかの税の納期と重なるため、これ以上便宜をはかる必要はないと判断した。

要望 現に望む声があり、他町村では、実施している。

再度検討を要望する。

質問 工場用地造成は8月末が工期である。遅れの原因は。

答弁 春先の天候不順と、調整池の岩盤の露出が原因で処理に時間を要する。

質問 完了見込みは。

答弁 一日も早い竣工を目指し業者と打ち合わせを行う。

要望 工期延長にあたっては、近隣住民に報告、理解を得る事が大切である。

質問 誘致活動の見込みは。

答弁 工事完了に伴い、より現実な活動ができるので、PRと企業への直接訪問を強化し実現したい。

要望 ダイジェスト版には、価格等インパクトの強いセールスポイントを載せてほしい。



造成工事が進む藤沢工業用地（沢井字藤沢地内）



渡邊 實議員

Q なぜ、小・中学校統合が必要か

A 子どもが減少、適正規模、適正配置のため必要

質問 32年前に中学校統合で2校となり、現在に至る。総括する考えは。

答弁 評価は各科目とも教師の複数配置で充実し、生徒が切磋琢磨し、成長する機会が多くなったこと。多くの教育活動が展開できたことである。

質問 「小規模校は免許課題は通学距離が長くなり、登下校が大変になったことである。」



耐震補強工事大規模改造が進められている石川中学校（双里字川向）

外担任となるので学力低下が心配」として統合を進めたが、結果はどうであったのか。

答弁 保護者も、議会も大変混乱の中、石川中と沢田中になったが、町民意志と一致したものだっただか。

質問 以前の統合の課題はこれから研究する。

質問 同じつを踏まなために総括すること

要望する。

町の目指す子どもの未来像は。

答弁 「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育むこと。

質問 この子ども未来像は統合しないと実現できないのか。

答弁 体育や理科で、グループ授業や運動会、陸上競技会で、力を競わせることができない。

質問 小中学校の統合の必要性を伺う。

答弁 児童生徒は減少の一途で、多くの学校で複式学級があり、保護者から不安、統合を望む声が上がっている。適正規模、適正配置を図るため必要である。

質問 現場の先生の中には、「複式はだめ」というこ

とはない。逆にクラスの人数が多いと、埋もれてしまう子どもが出てくる場合もある。」という声がある。

答弁 複式学級になれば、児童は直接指導を受ける時間は2分の1である。

反問 町の教育、学校をどうすれば、理想の教育ができるのか、逆に議員に伺う。

反問 教育委員会が結論を出さないうちに答えられない。まず、専門機関がちゃんと議論すべきである。

質問 統合の決定者は誰か、保護者及び教職員の役割は。

答弁 制度上は町長だが、実質的には町民であり、保護者が最も重要な方々と考えている。

教職員は職務の立場ではなく、一町民として意見をいただきたい。

質問 学区ごとの協議機関の設置を提案する。

答弁 十分話し合える方策を検討します。

質問 統合に関して、教育長の職務と教育委員会はいつ統合を決めたのか伺う。

答弁 統合に関し、教育長には権限はない。

平成16年の第3次行政改革大綱で決められている。

質問 国・県の指導は無理な統合を行い、住民等の紛争が生じたり、通学上困難を招くことは、さけなければならぬ。小規模校として存続し、充実した方が望ましい場合もある」となっている。

答弁 十分勘案しながら、やっていく。

質問 統合計画はいつまでにつくるのか。

答弁 今年度中に策定する。

Q 救急車が行けない世帯の調査と対策は財政を見て、計画的に

質問 学校や体育館、保育所及び防災避難所などの耐震診断、改修計画は。

答弁 平成20年に策定した耐震改修計画に基づき、診断や改修を計画的に行う。

質問 市街地や山間地で救急自動車が自宅まで行けない世帯の実態と対策は。

答弁 財政を見ながら計画的に整備を進める。

Q 桜の苗木贈呈について植栽場所は

A 現時点では各家庭で管理できる場所をお願いする

関根 武一議員



質問 桜の町を前面に出し、観光客の誘致に力を入れていますが、今出川・北須川沿いの河川環境整備は、どのように取り組んでいるのか伺う。

答弁 毎年実施される河川クリーンアップ作戦の際にごみ類の回収を行い、堆積土砂の除去については、河川管理者である県が行っている。

また、各世帯からの生活排水などの流入は、合併処理浄化槽設置整備事業などにより水質改善に努めている。

質問 今年4月から誕生記念に桜の苗木を贈る取り組みをはじめたが、植栽場所はどのように考えているのか伺う。

答弁 出産した子どもの健やかな成長と住民の幸せを願い、町の花である桜の苗木を贈呈することにした。

桜を生かしたまちづくり、子供の健全育成を図ることを目的として始めた事業であり、4月から出生届は10件あり9人から申し込みがあった。植栽場所については特に指定していない。

質問 桜の苗を植える場所がないという人は総合運動公園などを利用してはどうか。

答弁 現時点では植える場所を提供する考えはない。ただ、大勢の町民の意向であるならば、早急に適地を考えて行く必要がある。

Q 学校統合、町民の理解を得るために具体的にどう取り組むのか
A 保護者や地域住民の思いに十分配慮しながら進める

質問 学校統合について「町民のコンセンサスを

得ながら結論を出す」と教育長は言っていたが具体的にはどう取り組むのか

答弁 小中学校の統合を考える際には、保護者や地域住民の思いに配慮し、通学地域の広域化に伴う児童・生徒へ与える影響、各学校で行われている地

域との密接な関係による教育活動への影響、学校を単位とした地域コミュニティ活動への影響などについても配慮する必要があると思われる。

以上の事を十分配慮しながら、今後の統合計画を策定していきたい。

質問 教育委員会の定例会は原則公開であるはず。統合という大きな問題であるからこそ、もっとオープンな議論をしてほしいと思う。例えば定例会の傍聴の呼びかけや、ホームページや広報などを利用して教育委員会内の議論の内容を報告できないか伺う。

答弁 統合問題などの重要な事が教育委員会の議題に載った場合に、どういふ論議がされたかどう公表して、皆さんに周知いただくか前向きに検討していきたい。



桜が咲く頃、橋脚にひっかかっているゴミ（字下泉地内）



角田 忍議員

Q 農業の振興策と取り組みは

A 誇りと希望の持てる農業の確立を図る



畜産農家に消石灰を配布（母畑・渡辺さんの牛舎）

質問 現在行っている農業の振興策と取り組みについて伺う。

答弁 石川地方農業振興計画を基本に「誇りと希望の持てる農業」の確立を図るため、高品質農産物の産地形成と農用地の利用集積による、効率的安定的な農業経営体の育成を図っている。

質問 具体的な取り組みを伺う。

答弁 水田農業の振興は低コスト生産支援、経営規模拡大を進める集団支援、環境にやさしい米づくりの推進、地産地消を旨とした米粉の利用促進、畜産農家と連携した稲発酵粗飼料や飼料米生産の推進等がある。

園芸作物の振興は、野菜、果樹、ともに推進品

目を選定し、普及、推進を図っている。

具体的事業は、パイプハウス設置補助、果樹産地育成事業など。

畜産の振興では、低コスト生産、高品質化など、具体的な取り組みは、家畜防疫充実のための助成事業、優良牛導入推進のため畜産振興基金の増額、自給体制確保のための共同利用機械購入の助成、酪農ヘルパー事業等である。

質問 過去10年間、新規就農者数について伺う。

答弁 県に報告している認定就農者名簿によると、過去10年間では9人となっている。

質問 専業農家数を伺う。
答弁 2005年農林業センサス（統計）による

と、農家数1546戸のうち、105戸である。

Q 本町の農産物の売上高は

A 20年度34億3千万円

質問 主要な農産物の生産量と算出額は。

答弁 水稲が生産量4963トンに対し11億3000万円。野菜は、出荷量2368トンに対し6億2000万円。果樹が生産量880トンに対し1億9000万円。肉用牛、乳用牛を含めた畜産が13億4000万円となっている。

質問 家畜伝染病、口蹄疫の予防対策を伺う。
答弁 県中家畜衛生推進協議会が配付する消石灰

のほか、町独自の助成で、飼養頭数に応じて消石灰を配付した。

また、畜産農家に対して、口蹄疫予防のためのチラシ配布も行っている。

質問 農産物のブランド商品の開発に着手する考えはあるか伺う。

答弁 本町の農産物は、安全で安心な環境にやさしい農産物の栽培を目指しており、市場でも高い評価を得ている。

さらに、当地域の特性、利点を活かした「良質・安全な米及び生鮮農産物の総合的、周年的供給を担う首都圏近接産地」を基本に生産に取り組んでいる。

Q 町長、一期4年の自己評価は

A 行財政改革により健全財政とした

瀬谷京子議員



質問 町政担当一期4年の自己評価を伺う。

答弁 私に課せられた責務は町政への信頼回復と財政再建であったが、集中改革プランによる行財政改革に取り組み、健全財政を確かなものとすることができた。

質問 オープンな町政は実現したのか。

答弁 情報の公開により透明性を高め、広報やホームページをリニューアルし、わかりやすい情報の発信に努めた。

質問 事業の抑制により町民への行政サービスが低下したのではないか。

答弁 町民の皆さんに迷

惑や負担をかけながら財政再建をしたということはない。

質問 町民の生の声を聞きに向いて意見交換する町政懇談会を開くべきと思うが。

答弁 積極的な取り組みをしていきたい。

質問 地域循環型社会の構築とは何を指したのか伺う。

答弁 一つは、地域福祉ネットワーク事業や高齢者サロンづくり事業、子育てサロン事業など、人と人の協働と循環。もう一つは、自治センターで社会教育とものづくりをし商店街の活性化に結びつけ、さらに道の駅構想に発展させる。



藤沢工業用地完成イメージ図（総開発面積10万㎡）

質問 道の駅まで発展させるのに何年かかるか。

答弁 担当者を一人配置した。計画を作り、2、3年後には道の駅まで発展できると思う。

要望 道の駅は既以後発市場調査をし、しつかり見極めるべきである。

質問 企業誘致が最大の使命と述べているが。

答弁 トップセールスは32社位、担当者を合わせると60社以上訪問した。

質問 企業に限らず、専門学校、大学、研究所、病院も企業誘致と思うが考えは。

答弁 それらも踏まえながら取り組んでいきたい。

質問 企業誘致をするためには人材の育成や病院、住宅、福祉など安心して生活できる環境整備も必要と思うが。

答弁 現に「工業高校はあるか」等の質問も出ている。環境整備は大事な事だが、今の時点では難しい。課題の一つだ。

質問 「企業誘致に工業団地は不可欠、任期中に2つ位は持って来る」と

いう強い熱意に議会も団地造成を承認した。町民の多くも心配している。議会にも責任はあるが、町長は責任をどう考えているか。

答弁 責任については今考えていない。期待に沿えるよう努力する。

Q 子宮頸がんワクチン接種に助成の考えは
A 国や県の動向を見ながら検討

質問 近年若い女性に急増している子宮頸がんは、唯一予防できるがんとしてワクチン接種に助成する自治体が増えている。

3回の接種で5万円前後の費用だが、中学生の全員が希望者に、全額または一部を助成している自治体が全国で30以上ある。

県内では現時点で、浅川町、川俣町、大玉村で助成を決めている。町の考えは。

答弁 国、県の動向を見ながら検討する。



中村孝太郎議員

Q 町営住宅建設計画の見直しを

A 現時点では見直す考えはない

質問 「石川町に戻りたいが安く住める町営住宅はないか」の声があるのに受け入れの条件がないのは残念だ。既存の町営住宅は、老朽化が激しく子育て世代や高齢者が安心して住める環境ではない。子育て世代の支援、

高齢者の安全で安心な町営住宅施策、第5次総合計画の数値目標や建設年度を見直す考えはないか何つ。

答弁 防災報知機の設置のほか、高齢者や障害者などの住宅改修にも積極的に対応するなど安心して暮らせる住環境の確保に努めている。第5次総合計画は、中期的な財政状況を勘案して策定したもので見直しは困難。

質問 耐用年数を超える住宅が185戸もあるのに、平成30年度までに12戸ではどうしようもない。それでも見直す気はないか。

答弁 現時点では、見直す考えはない。

ル広場を整備してきた。第2期工事として陸上競技場や野球場等が計画されているが、財政状況や施設建設の是非を含め困難な状況にある。

質問 総合運動公園の未整備施設計画を見直しと、土地の有効活用について伺う。

答弁 第2期工事は、財政事情が整わず未着手になっている。未整備地は将来の整備事業に影響のない範囲であれば十分活用も可能と考える。

Q 総合運動公園未整備地の有効活用は

A 十分活用も可能

質問 総合運動公園は、平成2年に運動施設と公園をあわせ持つ施設として都市計画の指定を受け、第1期工事として体育館や多目的広場、クリスタ

ル広場を整備してきた。第2期工事として陸上競技場や野球場等が計画されているが、財政状況や施設建設の是非を含め困難な状況にある。

質問 当初の計画を見直す考えはないか。

答弁 国の許認可の問題もあり、大幅な見直しはできないが小さな資金で利活用できるのであれば考えたい。

質問 子宮頸がんは、ヒ

トパピローマウイルスの感染が原因と言われている。ワクチン接種は、国・県の動向をみて検討したい。

質問 感染してもがん化を防ぐのには、検診が効果的だが、町は検診を検討したことがあるか。

答弁 子宮頸がん検診は、20、25、30、35、40歳の対象者に無料クーポン券を送り、受診を呼び掛けている。

質問 厳しい雇用の中で介護ヘルパーの資格取得の講座を町の事業としてできないかの声がある。雇用対策として講座を実施する考えはないか。

答弁 検討したい。

質問 介護ヘルパー有資格者が家族の介護をした場合に、補助を出す考えはないか。

答弁 前向きに検討する。



総合運動公園未整備地（字渡里沢地内）

Q 下水道整備計画は

A 合併浄化槽の設置推進を図る

関根
信次議員



質問 下水道整備計画はあるか。

答弁 本町では、平成3年に下水道等整備構想を、その後、公共下水道基本計画を策定し、下水道整備について検討してきた。

しかしながら事業化には多額を要することやその後の経済情勢の変化などから、公共下水道の整備は断念した。

そのため、水環境の保全のための生活排水対策については、町内全域合併浄化槽により行うこととし、補助制度を活用し

ながら、合併浄化槽の設置推進を図っている。

質問 国や県の助成を利用し、集落排水を旧町内など部分的に年次計画で取り組めないか。

答弁 このような事業には必ず国県などの助成制度もあるが、本町はこれまで合併浄化槽に方針を定めて投資をしてきたため合併浄化槽設置の家庭も進んでいる。

これを見直した場合に非常に効率が悪くなることから、これまでどおり、合併浄化槽の設置推進を図っていききたい。

Q 千五沢ダム水質改善について

A 上流町村と連携して水質改善に努める

質問 水質改善対策、その後の取り組みは。

答弁 千五沢ダムは、福島県水道原水水質保全事業に基づき、上流域の農

業集落排水事業や合併浄化槽設置事業などにより、水質改善対策が実施されてきた。

また、石川町、玉川村、平田村の一町二村で構成する「北須川・今出川生活排水対策推進協議会」

においては、住民に対する啓蒙としてパンフレットや啓発品の配付を行い、生活排水の浄化に向けた取り組みを行ってきた。

このほか、有効な手段を検討すべく専門機関に調査を依頼し、流入河川や貯水池内の水質改善に向けた方策を見出していきたい。

また、引き続き上流域の町村と連携を深め、水質改善に取り組んでいきたい。

質問 今後の取り組み予定は

答弁 今年度も大学の専門機関に、調査を依頼したところである。

要望 水道・河川とも水質改善を望む声はとても多い。更なる取り組みを願う。



下水道整備が望まれる掘田川（母畑字樋田地内）

一般質問のその後は

平成21年6月定例会で行われた一般質問の中からピックアップし、現在の状況をお知らせします。

未婚対策は

自分磨きで婚活事業を開始

「これまで出会いの場づくりや結婚相談員制度など、種々の施策があったが成果があがっていない。21年度40万円の予算をどう活かすか」の質問に対し、広域で民間とのタイアップも含めて新しい視点で出会いの場をつくりたい」との答弁であったがその後は、

若者の定住促進と少子化対策に寄与することを目的に、「自分磨きで婚活結婚予備校」を開校した。自分磨き講座と体験型イベントをセットにし、結婚に対する不安を自信に変えるなど意識改革につながるよう、年3回の

婚活事業を開催した。婚活事業には81人の参加があり、結婚に対する

意識を高めることができた。

「婚活事業を継続して開催してほしい」との参加者からの声が多く、22年度は、石川地方5町村が連携して「自分磨きで婚活」の事業を開催する。



婚活事業に参加の皆さん(田んぼでのキャンプファイヤー)

消防施設の整備改修は

「消防団員にとって屯所は活動拠点である。屯所の老朽化が進んでいるが屯所、消防施設の整備はどうなっているか」の質問に対し、機械器具の更新もあり屯所まで回らないのが現状であるが、年次計画の中で整備をしていきたい」との答弁であったがその後は、

平成21年度の消防施設の整備状況は、20年度緊急経済対策繰越事業、21

年度緊急経済対策事業、一般整備事業とあわせて、自動車ポンプ1台(石川分団第1部)、小型動力ポンプ2台(母畑分団第3部、中谷分団第3部)、防火水槽3基(柏立、兵庫屋敷、恵瀬郷地内)、消火栓3基(鳥内、草倉田、中野地内)、防火水槽修繕3ヶ所、そのほか屯所の修繕を行っている。

平成22年度は、石川分団第6部の屯所改築が計画されている。



「石川分団第1部」に配備された消防ポンプ自動車

活発なご意見をいただいた 議会報告会

■ 多数の参加と熱心な
ご質問やご意見に感謝

5月26日(水)、27日(木)、28日(金)の3日間、石川町公民館をはじめ、各自治センターの6ヶ所で、議会報告会を行いました。

議会活性化の一つとし



5月27日中谷地区議会報告会(中谷自治センター)

て行われたもので、議員が二班に分かれ、議会活動の報告や、意見交換を行いました。町民の皆様、150人の方が出席し、熱心にご質問やご意見をいただきましたことに心から感謝申し上げます。

行政区長さんのご協力に感謝
議員もポスターを掲示し、PR

議会報告会では行政区長さんに大きなご協力をいただきましたありがとうございます。

また、ポスターの掲示にご協力いただいた皆様にも御礼申し上げます。

■ ご意見やご要望に対する考えは、議会だよりでお知らせ

報告会では企業誘致や直売所(道の駅)、学校統合、農林業の振興、人口減少対策、市街地対策、石の活用、健康診断、税金徴収、議員定数、水質改善、さくらまつりなど各分野にわたり、ご意見をいただきました。

また、議会の議決責任や陳情採択後の調査、監視と提言などにもご意見をいただきました。

これらのご質問やご意見、ご要望に対する議会の考え方や町の取り組み状況などは、後日、議会だよりでお知らせいたします。

緊張感にあふれた 本町初の休日議会

6月13日(日)議会活性化の一環として、平日傍聴に來られない町民のために、本町議会史上初となる休日議会を開催しました。

一般質問には7人が登壇し、懸案である小中学校統合問題や企業誘致など多岐にわたり質問しました。質問や答弁に感想等をつぶやく人もあり真



多くの方々に傍聴いただいた休日議会

剣に聞き入る姿がありました。

今回の開催は、多くの方々の傍聴もあり、良い緊張感を持って臨むことができました。少しでも評価をいただければと思います。

なお、本会場での傍聴者数は40人、各自治センターでの中継視聴者数は18人でした。

次回開催の時には、今回より多くの方々への傍聴があれば私たちは励みにもなります。

議会OBとの意見交換

6月15日(火)定例会終了日午後6時から議員OB13人の出席をいただき、議会報告会、休日議会について交換会を行いました。一定の評価とOBならではの視点に立った改善点など指摘をいただきました。





▲美しく咲いたあやめ園前で
の板仲整備委員会の皆さん

里山の美しい風景、 豊かな自然を守る人々

板仲整備委員会

今回は、地域の宝を活かして、地域おこし活動に取り組み「板仲整備委員会」を紹介します。

お話を、会長の太楽光さんに伺います。

問 会員の構成は。

答 板橋の板中地区25戸の老若男女です。

問 どのような活動を行っていますか。

答 5月に、役場の地域づくり推進課協力のもと、念願の夢であった都会との交流「田舎暮らし満喫ツアー2010」を行いました。

問 何人が参加しましたか。

答 7人を迎えて開催しました。私たちにとっても、地区にとっても大きな喜びです。

今回は、地域の宝を活かして、地域おこし活動に取り組み「板仲整備委員会」を紹介します。

お話を、会長の太楽光さんに伺います。

問 会員の構成は。

答 板橋の板中地区25戸の老若男女です。

問 どのような活動を行っていますか。

答 5月に、役場の地域づくり推進課協力のもと、念願の夢であった都会との交流「田舎暮らし満喫ツアー2010」を行いました。

問 何人が参加しましたか。

答 7人を迎えて開催しました。私たちにとっても、地区にとっても大きな喜びです。

問 どのようなことを行

いましたか。

いましたか。

答 田植え、野菜（カボチャ、大根、ニンジンなど）の作付け、山菜採り、タケノコの収穫などです。

問 開催してみでの感想は。

答 所期の目的を達成することができ満足しています。

問 そのほかの活動は。

答 7月に、板仲あやめ園で地域間交流の場として「第5回板仲あやめまつり」を開催しました。地元産の新鮮野菜の販売、豆だんご入りおこわなどを販売し、大変好評でした。

町内外の、子どもからお年寄りまで、たくさんの方に来ていただき感謝しています。

また、10月には「板仲ミニ収穫祭」を予定して

います。

問 板仲あやめ園には、何本くらいのアやめが咲きますか。

答 約3000株、1万本のあやめが咲きます。

問 板中地区は、どのような地域ですか。

答 自然の景観に恵まれ、人にも恵まれ、各組織（中山間地板仲、農地水みんなどの里山保全会、板中そば愛好会）が手を取り合う協力的な地域です。

問 今後の目標は。

答 自分たちの地区だけではなく、「和と輪」を全地区に広めていきたいと思っています。

◇ ◇ ◇

地域を愛する板仲整備委員会。みなさんの熱い思いは、さらに広まり、地域の活性化につながることでしよう。

これからも、ますます元気ががんばってください。ご協力ありがとうございます。 (Y・Y)

【優秀選手賞】永沼一夫
【敢闘賞】渡邊 實
【特別賞】関根武一

角田市とのソフトボール

親善試合

姉妹都市、宮城県角田市議会議員との、第21回ソフトボール親善試合を、5月17日町民グラウンドで開催しました。

通算成績8勝12敗で3連敗中の当議会は、勝利を目指して、矢吹重光監督、角田忍主将を中心に練習を重ね試合に臨みました。

惜しくも13対12の僅差で敗れ4年ぶりの勝利にはなりませんでしたが、議員同志の交流と親睦を深めました。

【優秀選手賞】永沼一夫
【敢闘賞】渡邊 實
【特別賞】関根武一



▶バッターボックスに立つ矢吹監督

編集後記



食改さんの手作り弁当

議会活性化の一環として、初めて議会報告会と休日議会を開催しました。これらの場でいただいた多くの意見や提言、叱咤激励を真摯に受け止め、今後の議会活動に活かしてまいります。

一般質問の日、町食生活改善推進委員会の皆さんが「食」を通しての健康づくり活動の一環として弁当を作ってください、二瓶元子会長ら役員と昼食会をしました。

地元食材を使ったヘルシー弁当に舌鼓をうちました。

感謝合掌
(K・S)